



平成28年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月13日

東

上場会社名 株式会社ジェイアイエヌ 上場取引所  
 コード番号 3046 URL <http://www.jin-co.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 中村 豊 (TEL) 03-5275-7001  
 四半期報告書提出予定日 平成28年4月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年8月期第2四半期の連結業績 (平成27年9月1日～平成28年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第2四半期	21,527	21.3	1,188	33.0	1,132	34.3	457	31.9
27年8月期第2四半期	17,744	0.6	893	△8.1	842	△8.5	346	△10.2

(注) 包括利益 28年8月期第2四半期 422百万円( 8.9%) 27年8月期第2四半期 387百万円( 0.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年8月期第2四半期	19.07	—
27年8月期第2四半期	14.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年8月期第2四半期	25,417	14,018	55.2
27年8月期	24,661	13,979	56.7

(参考) 自己資本 28年8月期第2四半期 14,018百万円 27年8月期 13,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期	—	0.00	—	16.00	16.00
28年8月期	—	0.00	—	—	—
28年8月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年8月期の連結業績予想 (平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,500	19.2	4,300	20.0	4,100	17.8	2,300	20.9	95.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年8月期2Q	23,980,000株	27年8月期	23,980,000株
② 期末自己株式数	28年8月期2Q	3,491株	27年8月期	3,491株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年8月期2Q	23,976,509株	27年8月期2Q	23,976,509株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位の記載に変更しております。これにより前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても比較を容易とするため、百万円単位で表示しております。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成28年4月15日(金)にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(4) その他注記情報	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年9月1日～平成28年2月29日）における国内の経済環境は、一部に弱さも見られるものの、企業収益の着実な改善を背景に、景気は緩やかな回復基調が続いております。

一方で、中国経済をはじめとした海外景気の下振れによる景気の下押しリスクの懸念により先行きは不透明な状況であります。

また、国内眼鏡小売市場（視力矯正眼鏡）は、消費増税後の低迷から脱却し、このところ改善の傾向が続いているものの、力強さに欠けております。

このような市場環境の中で、当社グループでは、前連結会計年度より課題と認識しておりました商品戦略の再構築、店舗オペレーションの改善、MD（マーチャндаイジング）展開の変更等に取り組み、一定の成果は得られていると考えております。

国内アイウェア事業において更なる成長を実現していくためには、コミュニケーション戦略及び商品戦略の一層の強化が必要不可欠と認識しております。

下期においても、引き続きこれらの諸課題への取り組みを強化してまいります。

一方、グローバルでの成長を目指し、中国において積極的な出店の継続、台湾への新規出店の開始、米国の収益改善に向けた体制整備やショッピングモールへの出店検討等にも注力してまいりました。

また、平成27年11月には、革新的な商品として位置付けている「JINS MEME」（ジンス ミーム）を発売し、従来のアイウェア市場にとどまらず、テクノロジーを駆使した新しい市場の創造に挑戦しております。

店舗展開につきましては、当第2四半期連結会計期間末におけるアイウェア専門ショップの店舗数は、国内直営店舗296店舗（出店10店舗、退店1店舗）、中国直営店舗65店舗（出店13店舗、退店2店舗）、米国直営店舗1店舗（出店なし、退店なし）の合計362店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高21,527百万円（前年同期比21.3%増）、営業利益1,188百万円（前年同期比33.0%増）、経常利益1,132百万円（前年同期比34.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益457百万円（前年同期比31.9%増）となりました。

セグメント業績の概況は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前年同期比につきましても前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

## セグメント別の売上高

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	構成比	前年同期比
国内アイウェア事業	18,165百万円	84.4%	118.5%
海外アイウェア事業	1,914百万円	8.9%	179.2%
その他	1,447百万円	6.7%	107.5%
合計	21,527百万円	100.0%	121.3%

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 「その他」の区分には、メンズ雑貨事業、レディース雑貨事業等の収入が含まれております。

## 〈国内アイウェア事業〉

国内アイウェア事業につきましては、商品力、接客力が一定レベルにまで向上してきたことから、平成27年10月にクラシックシリーズに焦点を当てたキャンペーンを行うとともに、平成27年12月に従来の「JINS PC」をリニューアルして発売した「JINS SCREEN」(ジinz スクリーン)のプロモーションをTVCMを中心に展開いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における既存店売上高は、前年同期に比べ11.8%増加(「JINS MEME」(ジinz ミーム)を除く)いたしました。

店舗展開につきましては、店舗数は国内直営店舗296店舗となりました。

以上の結果、国内アイウェア事業の業績は、売上高18,165百万円(前年同期比18.5%増)、営業利益1,344百万円(前年同期比53.1%増)となっております。

## 〈海外アイウェア事業〉

海外アイウェア事業につきましては、中国における当社グループのビジネスモデルの優位性は変わらず、同国における競合状況、出店環境等引き続き良好に推移し、順調に事業の拡大が続いており、黒字化の定着が図れたと認識しております。

また、米国においては、北米第1号店である旗艦店(カリフォルニア州サンフランシスコ市)において平成27年12月より店舗での検眼サービスを開始し、顧客の利便性の改善に取り組んだことで、売上に力強さが見え始めております。

店舗展開につきましては、店舗数は海外直営店舗66店舗となりました。

以上の結果、海外アイウェア事業の業績は、売上高1,914百万円(前年同期比79.2%増)、営業損失207百万円(前年同期は営業損失13百万円)となっております。

なお、連結子会社であるJINS US Holdings, Inc.、JINS Eyewear US, Inc.は、前連結会計年度末より連結の範囲に追加したため、前第2四半期連結累計期間には、当該連結子会社の業績は含まれておりません。

## 〈その他〉

その他につきましては、メンズ雑貨事業、レディース雑貨事業等の収入により構成されております。

店舗展開につきましては、メンズ雑貨専門ショップ16店舗(出店1店舗、退店なし)、レディース雑貨専門ショップ23店舗(出店1店舗、退店3店舗)となりました。

以上の結果、その他の業績は、売上高1,447百万円(前年同期比7.5%増)、営業利益51百万円(前年同期比78.7%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	平成27年8月期末 (平成27年8月31日)	当第2四半期連結 会計期間末 (平成28年2月29日)	増減	増減率(%)
総資産	24,661	25,417	755	3.1
負債	10,681	11,398	717	6.7
純資産	13,979	14,018	38	0.3

## (イ) 資産

流動資産は、12,173百万円となり、前連結会計年度末に比べ251百万円減少いたしました。

これは主に、受取手形及び売掛金が359百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、13,080百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,029百万円増加いたしました。

これは主に、新規出店等に伴い建物及び構築物等の有形固定資産が202百万円増加したこと、敷金及び保証金が280百万円増加したこと、ソフトウェア開発により無形固定資産が282百万円増加したことによるものであります。

繰延資産は、163百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円減少いたしました。

これは主に、開業費の償却を行ったことによるものであります。

以上により、総資産は、25,417百万円となり、前連結会計年度末に比べ755百万円増加いたしました。

## (ロ) 負債

流動負債は、8,795百万円となり、前連結会計年度末に比べ475百万円増加いたしました。

これは主に、未払法人税等が626百万円、未払消費税等が488百万円減少しているものの、短期借入金が1,772百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、2,602百万円となり、前連結会計年度末に比べ241百万円増加いたしました。

これは主に、設備資金の借入に伴い長期借入金が113百万円増加したことによるものであります。

以上により、負債合計は、11,398百万円となり、前連結会計年度末に比べ717百万円増加いたしました。

## (ハ) 純資産

純資産合計は、14,018百万円となり、前連結会計年度末に比べ38百万円増加いたしました。

これは主に、配当金の支払いにより383百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益457百万円を計上したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在当社はコミュニケーション戦略、商品戦略等の課題の克服に向け鋭意取り組んでおりますが、現時点における通期の業績予想につきましては、平成27年10月13日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、  
当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、本会計方針の変更等による損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,889	3,151
受取手形及び売掛金	2,686	2,326
商品及び製品	3,770	5,349
原材料及び貯蔵品	160	249
その他	917	1,095
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	12,424	12,173
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,808	5,941
その他(純額)	1,422	1,491
有形固定資産合計	7,230	7,433
無形固定資産		
無形固定資産	1,111	1,394
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,180	3,461
その他	528	791
投資その他の資産合計	3,708	4,252
固定資産合計	12,051	13,080
繰延資産		
開業費	185	163
繰延資産合計	185	163
資産合計	24,661	25,417



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,458	1,579
短期借入金	1,108	2,881
1年内返済予定の長期借入金	1,074	853
未払金及び未払費用	2,280	2,093
未払法人税等	1,128	502
資産除去債務	20	20
その他	1,248	864
流動負債合計	8,320	8,795
固定負債		
長期借入金	934	1,047
資産除去債務	202	203
その他	1,225	1,351
固定負債合計	2,361	2,602
負債合計	10,681	11,398
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,202	3,202
資本剰余金	3,179	3,179
利益剰余金	7,402	7,475
自己株式	△1	△1
株主資本合計	13,782	13,855
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	197	162
その他の包括利益累計額合計	197	162
純資産合計	13,979	14,018
負債純資産合計	24,661	25,417

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
売上高	17,744	21,527
売上原価	4,572	5,496
売上総利益	13,172	16,031
販売費及び一般管理費	12,279	14,843
営業利益	893	1,188
営業外収益		
受取利息	0	1
受取手数料	5	—
受取賃貸料	10	8
為替差益	—	11
その他	3	14
営業外収益合計	20	35
営業外費用		
支払利息	24	44
支払手数料	13	12
為替差損	30	—
開業費償却	—	19
その他	1	15
営業外費用合計	70	91
経常利益	842	1,132
特別損失		
固定資産除却損	50	109
店舗閉鎖損失	40	0
リース解約損	—	1
特別損失合計	90	111
税金等調整前四半期純利益	752	1,021
法人税、住民税及び事業税	264	506
法人税等調整額	140	57
法人税等合計	405	563
四半期純利益	346	457
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	346	457

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
四半期純利益	346	457
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	41	△34
その他の包括利益合計	41	△34
四半期包括利益	387	422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	387	422
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	15,329	1,068	16,397	1,347	—	17,744
セグメント間の内部売上高又は振替高	28	—	28	—	△28	—
計	15,358	1,068	16,426	1,347	△28	17,744
セグメント利益又は損失(△)	877	△13	864	28	—	893

(注) 1 「その他」の区分は、メンズ雑貨事業、レディース雑貨事業等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年9月1日 至 平成28年2月29日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	18,165	1,914	20,080	1,447	—	21,527
セグメント間の内部売上高又は振替高	55	—	55	—	△55	—
計	18,221	1,914	20,135	1,447	△55	21,527
セグメント利益又は損失(△)	1,344	△207	1,137	51	—	1,188

(注) 1 「その他」の区分は、メンズ雑貨事業、レディース雑貨事業等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更に関する事項

当社グループの報告セグメントは、事業部門別セグメントから構成されており、またそのほとんどを占める「アイウェア事業」を報告セグメントとしておりました。

しかしながら、海外出店等に伴う構成単位の変化に伴い、経営資源の配分の決定及び業績の適切な評価を行うため、当第1四半期連結累計期間より、当社グループではアイウェア販売を主たる事業として、「国内アイウェア事業」、「海外アイウェア事業」を主な報告セグメントとして区分することといたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しています。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## (4) その他注記情報

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年2月29日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
給与手当 3,533百万円	給与手当 4,327百万円
地代家賃 3,077百万円	地代家賃 3,738百万円
広告宣伝費 958百万円	広告宣伝費 1,266百万円